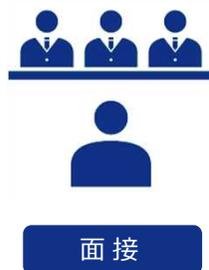


# 職場実習・体験事業〈事業主メリットの例〉

事業主に対する事業受入に関するメリット ～受入が成功した例から～

## 1. ミスマッチの防止

- 職場実習・体験を通じて職場の雰囲気や業務の理解が深まることで、十分に職場を理解した上での応募が期待できる。
- 職場実習・体験を通じた応募であれば、本人が適正の有無を判断した結果なので、入社後のミスマッチや早期離職の防止が期待できる。



## 2. 人材の見極め

- 職場実習・体験の期間は、短時間のやり取り（面談等）では把握できない、職種への適性や対象者の勤務態度・人柄等を知ることができる良い機会。
- 職場実習・体験により職場の理解をしたいという「やる気度・本気度の高い方」が応募する可能性がある。



## 3. 職場の活性化

- 職場実習・体験を受け入れ、外部の方がいることにより、新しい視点の意見が得られ、職場の活性化につながる。
- 実習指導を行う中で、業務を振り返ることにより業務改善点等の発見や抽出につながる。



## 4. 人手不足への対応

- コロナ禍で入国制限がある外国人労働者等ではなく就職氷河期世代を採用することで、職員の年齢バランスのギャップも解消し、技能継承を可能に。
- 応募を迷う対象者に具体的な就業イメージを持ってもらうことや、応募に向けた不安の解消で、本人の応募意欲の高まりが期待できる。



# 職場実習・体験事業〈参加者・事業主からの声・好事例〉

## 職場実習・体験の参加者・事業主からの声・好事例

体験実習で一番良いと感じたことは、内部の方々の声を直接聞いたことで不安が払拭された点。現場の社員に持病を伝えた際に、有給休暇を取得し通院が可能であるとの情報を聞いたのは大きい。

色々な小売店に行き、営業等ルート販売に同行させてもらいとてもよかった。自分にもできそうと自信がついた。

自分に向いている仕事、向いていない仕事があった。

未経験の職種への応募を検討していた不安が大きかったが、体験実習で一度経験ができ、応募に自信がついた。

サポステの職場体験プログラムは長期間なので、より短期間で実習ができる点良かった。

事業所からの提案により、生の現場職員の声として、参加者と同じように異業種から転身した同年代の職員とオンラインで話す機会を設けてもらった。

期間中、休憩時間等に参加者とざくばらんに話せる時間が持てるのが良い。

体験者を紹介していただいたことで、外部目線による刺激により、社員の教育やモチベーションの向上にも繋がった。

体験に来られた方が好印象であったので、体験後は是非こちらに就職していただきたいと感じた。

従業員とのコミュニケーションを取りつつ、職種理解をするにはちょうどよい期間（10日程の実習）だと感じる。



参加者

短期の就業が多いため自身の職歴に自信がなかった。書類選考で不採用になることも多かった。実習後、実習先の求人に応募し、採用になった。応募前に実習を通して自分を知らせていただき、仕事ぶりも見ていただけたからだと思う。

入社後の早期離職を防ぐに当たり、向き不向きを理解いただくためにも体験実習は有効と感じた。

今後も体験実習希望者は歓迎したい。



職場